

「今月の訪問先」

株式会社セレモニー

感動を呼び起こす多彩なサービスで 地元浦和の人々の生活をサポートする

株式会社セレモニーは、冠婚葬祭互助会を主として長く浦和の人々の生活に密着したサービスを行ってきた。今シーズンから新たに浦和レッズとパートナーシップを締結。ハートフルクラブの活動にも協賛し、子供たちを含む多くのサポーターに夢と感動を提供している。

文●編集部 Text by UrawaRedsMagazine
写真●株式会社セレモニー Photo by Ceremony

サッカーとの深い結びつき 浦和を愛する想い

埼玉県下で互助会を核とした事業を展開している株式会社セレモニーは、今シーズンからオフィシャルパートナーとして浦和レッズを支えている。

創業47年を迎えた同社は地域貢献の意識が強く、スポーツや芸術などの文化的な活動に対するサポート意識も深い。自らもボールを蹴ることが好きという志賀司代表は、念願が叶った今回のパートナーシップ締結だと言う。

「弊社は古くから浦和を本拠地として事業展開を行ってまいりました。浦和といえば街全体がどこへ行ってもサッカー、というのが当然のようになっていきます。同じく地元の熱狂的なサポーターの支持を受けるレッズを、会員の皆さまと一緒に応援したいという想いがあります。また、私自身が純粹にサッカーが好きなんです。2週間に1度は会社のチームで汗を流しています。社員にも熱

狂的なサポーターがたくさんいますから（笑）。そう考えると、今回のパートナーシップ締結は自然な流れだったと言えるかもしれませんね」

志賀代表にはレッズとの浅からぬ縁もある。叔父の志賀廣氏は、浦和高校時代「伝説のストライカー」と呼ばれた選手。同校が全国高校選手権2連覇（第33回、34回）を成し遂げたときの絶対的なエースストライカーで、レッズが行うハートフルクラブの落合弘キャプテンが、「神様のような存在だった」と振り返るほどの偉人なのだ。

「サッカーとは切り離せない関係かもしれないですね」と、志賀代表は笑う。

子供たちの教育を考え ハートフルクラブにも協賛

今回は、Jリーグ初優勝を実現した4年前とはチーム状態も成績も異なる中で、パートナーシップ締結だったわけだが、迷いはなかったという。

「成績は全く気になりませんでした。反



志賀 司さん
株式会社セレモニー 代表取締役社長



互助会って何？

月々の掛け金に応じて、婚礼・葬儀・通儀などサービスを受けられる。生命保険が「金銭の給付」であるのに対して、互助会は「役務の提供」といえる

対に真のサポーターであるなら、調子の良くないときにこそクラブを応援したいと思うはず。ですから今後も、どんなときでもしっかりサポートしていきたいですね」

サッカーをとおして多くの人々の「こころ」を育むべく、レッズが推進するハートフルクラブの活動にも協賛している。同社は以前からスポーツをとおした子供の教育、子供の夢を応援する活動に意欲的で、2年前からは上尾市のちびっ子サッカー大会に協賛。今年も24チームが参加した「セレモニーカップ」において、大会のサポート、メダルの贈呈などを行っている。

「私自身、子供のころに駒場で行われたサッカースクールに参加した思い出が強いんですよ。子供にとっては忘れられない経験で、大きな喜びです。しかも今は、元プロサッカー選手と触れ合ったり、テクニクを教えてもらったりできる。子供たちにそうした機会を作ってあげるのには素晴らしいし、そこに協力させていただけるのは本当にありがたいことですね」

ハートフルクラブの活動によって、大人たちの夢も膨らむ。

「日本の未来は子供たちにかかっているんですよ。ハートフルクラブに参加した子供が将来レッズの選手になってくれたらうれしいですけど、そこまでいなくても、ますますスポーツが好きになったり、楽しい思い出を作ったり、仲間を思いやることを学んだり。それだけでも十分価値があると思うんです。サッカーに限らず、子供たちの教育を考えると必ずプラスになる取り組みなので、真っ先



年2回発行の会報誌「BLOOM(ブルーム)」。巻頭では志賀代表が各界の著名人と対談を行い、興味深い本音を引き出している。今秋の最新号ではF1ドライバーの小林可夢偉さんを招き、大きな夢、子供たちへの熱い想いを語っている

ティナラウンジ
CAFE-RESTAURANT-BAR
TINA LOUNGE

150×120インチの大画面は県下のスポーツバーでもトップクラス。レッスンのアウェーゲームは完全生放送なので、サポーター同士で大いに盛り上がりそう。志賀代表自身が「しっかりチェックしている」という本格イタリアンは絶品だ

同社はスポーツへの関心が高く「セレモニーフット」は定期的に練習を実施。今年では「レズランドでのエンジンイットサル大会」でも汗を流している



介護用品と福祉用具の「あつぷる浦和店」

セレモニー本社1Fにある介護用品、福祉用具のお店。同社会員の皆さまは充実の商品に対して割引がきく。介護タクシーや介護が必要な方のための住宅改修サービスも行っている



問合せ先 ダイニングバー「ティナラウンジ」
TEL 048-814-2277
URL www.tinalounge.com
所在地 さいたま市浦和区高砂2-1-19
浦和フントントホテル1F
(浦和駅より徒歩3分。近隣駐車場有)

に協賛させていただいたんですよ」
**感動を与えられるような
ベストを尽くしたサービス**

志賀代表が口にした言葉が、「ベストを尽くす」ということ。常にベストを尽くし、勝利に向けて全力で戦っているレッズの選手たちの姿を見ると、胸が熱くなり、大いに刺激を受けるという。

「将来的にどうやって会社を伸ばしていくのかを考えると、一番はお客様にベストを尽くしてサービスするということになりそうです。普段からいろいろと勉強したり、話し方に気をつけたり、トレーニングを積んだり。その結果が成績につながるわけで、スポーツと一緒にやらないでしょうか。サッカーも、常にベストを尽くさなければ勝てない。レッズの姿勢は私たちの考え方にも通じるような気がするんですね。だから私はスポーツが好きだし、応援したいと思うんですよ」

地元と密接につながり、地元の人々に支えられているところは、レッズもセレモニーも変わらない。サポーターが心からレッズを愛しているように、会社として会員の方々に愛される存在になること。それがセレモニーが掲げる今後のビジョンだ。

「お客様のニーズに応えるだけでなく、これからは感動を与えられるようなサービスを提供していこうと思っています。レッズのサポーターの皆さまがレッズしか愛せないのと同じく、会員の皆さまに弊社以外は考えられないと言っていたいただけるような、そんな会社になっていきたいですね」